

エイブル文化振興財団 スポーツアスリートへの助成を開始！ 初年度の『Able Foundation Medal Materials』を決定！！

2025年1月23日
株式会社エイブルホールディングス

株式会社エイブルホールディングス(本社:東京都港区、代表取締役社長:平田 竜史、以下エイブルホールディングス)が拠出し設立された「公益財団法人エイブル文化振興財団(東京都港区、代表理事:佐藤 茂、以下当財団)」は、昨年度よりスポーツアスリートに対する助成事業を開始し、4名のアスリートが助成対象者(Able Foundation Medal Materials)に選ばれ、助成金の給付が行われました。

エイブル文化振興財団はこれまで大学生に対する奨学金の給付を行ってきましたが、スポーツは関係者だけでなく、社会を元気にするという当財団の信念のもと、今後、グローバルに活躍する選手への助成を開始しました。本年度はスキー、スノーボード、テニスの競技種目で助成対象者の募集を行ったところ、多くの選手からの応募があり、現役アスリートをはじめとする有識者で構成された選考委員による厳正な選考の結果、次の4名のアスリートが選出されました。

※『Able Foundation Medal Materials』とは

当財団では、才能など人の特徴という意味を持つ「Material」と、金銀銅メダルという金属の素材「Medal Materials」の2つの意味を込め、グローバルな場で金銀銅メダルが狙える能力を持った選手(人)を、このように称しています

【本年度のスポーツアスリートへの助成概要】

◇ 助成対象者(4名)

- ・ 長谷川 帝勝(スノーボードビッグエア)

2005年10月23日生まれ
所属: STANCER



- ・ 坂本 怜(テニスシングルス)

2006年06月24日生まれ
所属: 誉高校



- ・ 鈴木 一生(スキールペン)

2002年10月16日生まれ
所属: 慶應義塾大学



- ・ 有定 天(スノーボードハーフパイプ)

2012年02月11日生まれ
所属: シーズ



◇ 助成対象期間: 2025年1月1日～12月31日(1年間)

【選考委員の声】

本年度の選考に携わった選考委員は「応募された各選手はこれまでそれぞれ素晴らしい成績を残していらっしゃいました。大変難しい評価でしたが、今後、最もグローバルに活躍することが期待される選手を採用することができました。」とコメントされていました。

※ スポーツ助成事業の外部選考委員は次の方々です。

- ・ 清水 宏保氏(レーシングドライバー、元スピードスケート選手、長野五輪金メダリスト)
- ・ 清澤 恵美子氏(元アルペンスキー選手)
- ・ 竹内 智香氏(スノーボードアルペン選手)
- ・ 佐々木 真理絵氏(スポーツ通訳者)



清水 宏保氏

【選手の活動紹介】

選出されたアスリートはこのシーズンでも既に活躍されています。

- ◇ 長谷川 帝勝 :2024年度10月から開催された今シーズンのスノーボードのワールドカップ、ビッグエアの開幕戦と第3戦で優勝。
- ◇ 坂本 怜 :2024年12月に行われた男子テニスの国際大会「四日市チャレンジャー2024」シングルス決勝で、初のチャレンジャータイトルを獲得。

当財団は、採用された選手を全力で応援するとともに、今後もこれからの日本のスポーツ界を担う選手の支援に力を注いでまいります。

以上

<エイブル文化振興財団とは>

将来、グローバルに活躍する夢を持ち、日本や世界のためにチャレンジしようとする若者を応援したいという理念のもと、2020年8月に設立されました。その後、延べ160名の学生に奨学金を給付し、2024年度からはスポーツアスリートに対する助成事業も開始しました。

エイブルおよびエイブルグループは、これからも「夢を持ち、頑張っている人」を応援し続け、安心・快適で豊かな『暮らし』を世の中に提供することで、社会の発展に貢献してまいります。

エイブル文化振興財団ホームページURL: <https://www.ablefoundation.or.jp/>

【メディアからのお問合せ先】

株式会社エイブルホールディングス 広報室

TEL:03-5770-2618 FAX:03-5414-0675 MAIL:pr@able.co.jp